

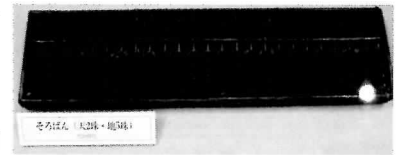
—わがまち歴史探訪、足もとの文化遺産への誘い—
ミュージアム都留からのお知らせ

企画展「ちょっと昔の道具と機械」展

★展示品紹介★

5つ珠そろばん

中国から伝わってきたころの姿を残したそろばんで、明治時代まで使われていました。16進法(16で桁が繰り上がる数え方)の計算をするために、上の珠が2つ、下の珠が5つあります。

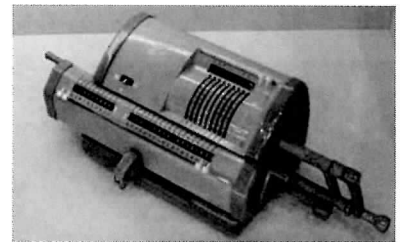


5つ珠そろばん

手回し式計算機

電卓などの電子式計算機が登場する前に使われていた計算機で、歯車などの機械部品で作られているため、機械式計算機とか歯車式計算機ともいいます。電卓が広まる前に、役所や事務所などで使われていました。

※実際に動かすことができます。



手回し式計算機

上皿棹ばかり

天秤ばかりの一種で、明治時代に日本に伝わりました。それまでの棹ばかりや天秤ばかりより正確で扱いやすかったため、取引や証明など様々な用途で使われました。

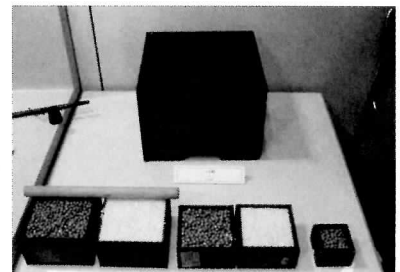
※実際に動かすことができます。



上皿棹ばかり

枡(一斗、一升、五合、一合)

「体積」をはかる道具として、古くから使われてきました。穀物をはかる「穀用」と酒や醤油などの液体をはかる「液用」があり、尺貫法に基づいて一斗から一合までのサイズがあります。



枡

会 期 6月29日(日)まで

時 間 午前9時～午後5時

観覧料 一般300円、高校・大学生200円、小・中学生100円

※20名以上の団体は3割引

※チケットは増田誠美術館(分館)と共通券となっています。

休館日 毎週月曜日、第3火曜日、祝祭日の翌日

※5月1日(木)から6日(火)までは無休です。

問合先 ミュージアム都留 ☎(45)8008 FAX(45)8201

勝山城のなぞに迫る！

本丸北側から新たにお茶壺蔵と思われる建物跡が確認されました。柱穴は半間の間隔を保ち、斜面には溝を設け、流れ込む水を堰き止めたと考えています。また、柱穴の付近では柱の基礎となる礎石が確認されており、これは柱穴の時期とは別に建物を建てた跡だと思われます。

今年度は、6月からお茶壺蔵の調査範囲をさらに広げ、建物の形状をより正確に掴んでいきたいと思っています。

増田誠美術館

増田画伯が描く水のある風景

会 期 6月8日(日)まで

開館時間 午前9時～午後4時30分

場 所 増田誠美術館(ふるさと会館2階)

休館日 月曜日 第3火曜日 祝日の翌日



「ヴェニス」

ヴェニス、イタリア北東部に位置し、水の都として有名です。世界各国から観光客が訪れる街です。歴史を感じさせる建造物が水に映る様を描いています。